成人式で赤塚しし舞いを披露

ゆり北

第176号　（16期第10号）
発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会
東京都板橋区赤塚新町
3－32－4－403
電話03(3938)9181番
発行責任者　吉　柳　俊　孝

アンケート結果

住み続けたいが、家賃が重い
高齢化、少子化も進む。

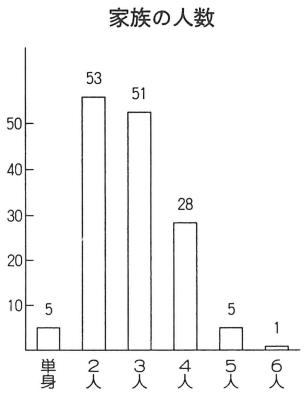
全国公団住宅自治会協議会の提起による「第五回団地の生活と住まいアンケート」に、ご協力ありがとうございました。おかげさまでゆりの木北自治会では、賃貸住宅の居住者の四三・三％（自治会員比率では六二・四％）のアンケート回答がありました。前回、前々回より回答が多く、この団地の居住者像のあらましが把握されたと思います。

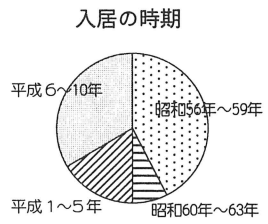
当初入居者は四〇％を切り、団地の住み替わりも進みました。世帯の中心は、入居時の四〇才台から五〇才台になっています。家族構成も、入居時の一世帯平均三人強から、二・八人とやや減ってきました。子の年齢は二〇才台が多く（一〇世帯に六人）なる一方、学齢未満児は一〇世帯に一人と少なくなっています。世帯主が六五才以上の世帯は一九・二％、六五才以上の高齢者は居住者の一二・八％と増え続けています。ここにも、高齢化・少子化がはっきりと表れています。

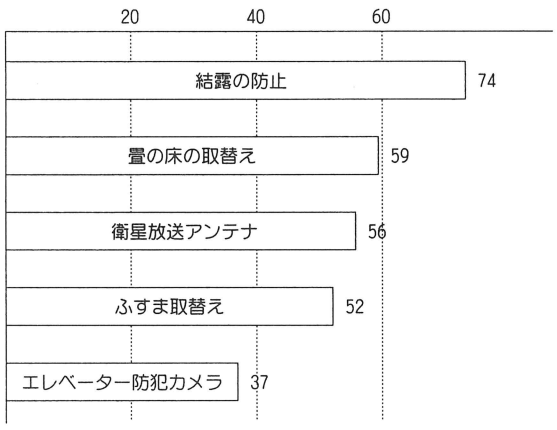
昨年度の世帯収入では、公団の居住想定世帯（年収六四〇万円以上）の世帯は半分でした。また半分近くが共働きで、高い家賃に苦労している様子が見えてきます。家賃に対する要望でも、家賃の引き下げが一位、二位に高齢者世帯への減額措置を求めるもの、三位が収入に対応した家賃を求めるものになっています。

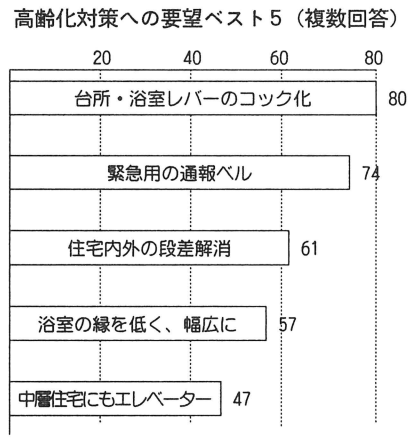
消費税については、廃止（二六％）、三％に引下げ（一九％）に対し、食料品などの非課税を求める声が強く（五九％）、このままでよいとする意見も一四％ありました。［この項は複数回答なので合計は一〇〇％を超えます］

全国公団住宅自治会協議会では二月中に集計を終え、公団交渉や建設省交渉のなかでこの結果を示して、新公団への移行に反映させる考えです。









築十六年
質の良い管理を

◇子どもが生まれて、妻が仕事を辞めるので、今年は収入が激減します。一人の収入では十二万円の家賃はとても負担です。昨年の収入ではなく、その時の収入で考えてくれないと、この仕事のない時代つらい思いです。

◇夏にクーラーを入れたら、ブレーカが落ちた。東京電力に聞いたら賃貸は30Aだと言われた。分譲は40A入れられるのは、同じ公団なのになぜ、不便で困っています。

◇ゆり北も築十六年、そろそろ目に見えない所で老化してきています。壁の中の配管、モーターの騒音等住みごこちも悪くなっています。住んでいる人の気持ちをくみとった管理をして欲しいと思います。

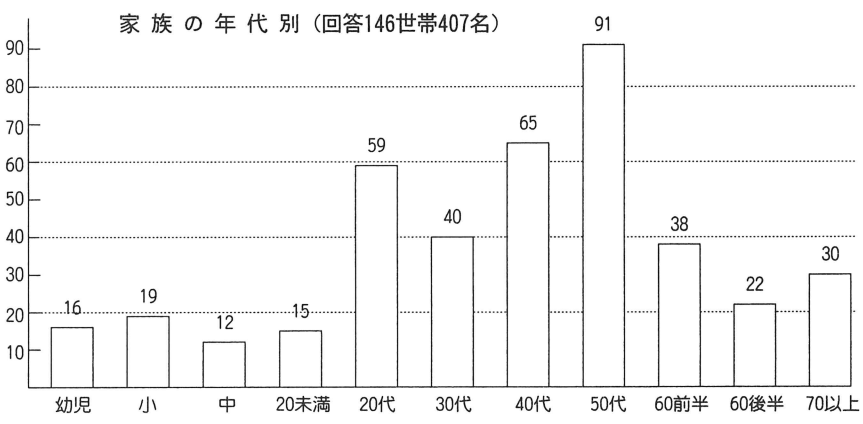
◇中層住宅には、高齢者対策としてエレベーターの設置を早急に望みます。商店街の騒音や買物客の自転車など静かさや歩行の安全など住環境の点検もして下さい。

◇修繕などが平日にしか行なわれないため、仕事を休まなければならない。土・日の休日にも修繕をしてもらいたい。

◇室内の壁紙等が汚れたり、少々破れたり、はがれたりして来た。始めから住み続けている私共は、希望者には安く（0ならもっと良い）改修出来る様にしてほしい。

◇万一、公団を出るときには、どれ位の金額がかかるのでしょうか。三ヶ月分の敷金はどうなるのでしょうか。ゆり北でも二軒分貸りれる制度をつくって欲しい。親子が近くに住めて、老人の世話のことも少しは解決できるのでは…

◇要望ばかり要求して、家賃も下げろと言うのは無理なことだと思います。世の中ただ（無料）より高いものはないと言うこと。その分誰かが負担をしている。収入に応じて家賃設定などしたら、一生懸命働いて高収入を得ている人は馬鹿をみます。現行の家賃制度を支持します。



事件が続いています
ゆり南、住棟内でひったくり

「ゆり北」第一七三号（十一月二五日号）で、ひったくり事件の多発を報告しましたが、最近も高島平、ゆり南で立続けに発生しています。

一月二八日に高島平七丁目で連続二件の発生がありました。高島平警察署管内では、昨年一年間に四八件と、週一回のペースであり、増加の傾向にあります。

手口は、オートバイなどで追い抜きざまに、自転車の前かごからバックなどをひったくる事例が多くなっています。

ゆり南では二月に入って、三号棟（公園に面した住棟）の上階の通路で、帰宅時にドアの鍵を開けようとしていた、居住者が襲われました。

また新聞やテレビで報道された、マンションに住む小学生の後を付け自宅に押込み、暴行や強盗を働く犯人もまだ捕まっていません。こちらは三十歳から四十歳で、関西弁をはなす男と報道されています。

物騒な世の中ですが、後を付けてくるような気配がしないか、バックや貴重品は身に付ける、バックや荷物は道路の反対側に持つ、自転車の前かごには荷物を入れないなど自衛するしか手はありません。

そして、襲われたら大声を出す、一一〇番通報をする、犯人の特徴（人相、服装、自転車・バイクの色やナンバーなど）をひとつでも覚えておき、警察に知らせることを心掛けて下さい。また未遂に終わったときでも通報にはご協力下さい。次の事件を防ぐことができます。

ご用心、肩かけ、前かご
暗い道

長屋の花見的な号棟新年会

昨年は私的な事情で号棟新年会にでられなかったが、かなりの盛況だったと聞いていた。北風の吹く寒い夜の一月三十日、新町公園脇の集会所に向かう。風邪が流行っていたせいか去年よりは参加者が少ない。持ち寄りの料理を食べながら暫し飲む。腹が落ち着いたところで、各自簡単な自己紹介と今年の抱負を語る。不況を反映してかシビアな抱負もきかれる。初回の人もいれば、常連になっている人もおり、変化があって面白い。

後半は、大人は小生のギターをバックに「夢の中へ」など昔の歌を歌ったり、子どもたちにはお菓子を配ったりした。

団地は昔でいうならさしずめ長屋というところだろうが、長屋のようにざっくばらんなつき合いというのも難しい。色んな考えの方がいらっしゃることと思うが、私はこういう気楽な集まりは、同じ棟の人と知り合いになれるいい機会と思うので大いに賛成だ。一年に一回というのも、少ないようでも、わずらわしくない回数でいいようだ。十号棟の場合は今年で八回目だという。こういう会は、持続することに意味があるのだが、そういう意味でも牽引車的な幹事の平野さんには感謝しています。各号棟でもこのような会がもっともっと波及すればいいのにと思う。理屈っぽいことを書きつらねたが、私にとっては、号棟新年会は、かたひじの張らない気楽で楽しい会だということを言いたかっただけだ。

●河南さん手作りのピカチューのカラーポスター、かっこよかったですよ。

十号棟　小林辰弥

めざせ国体！めざせオーガスタ

昨年「会報ゆり北」紙面でご案内しましたように、ゆりの木北団地で、野球同好会、ゴルフ同好会が結成されました。

ゴルフ同好会は、野口重則さん（五号棟在住）の呼びかけで始まったもので、現在十三名の会員が集まっています。近隣に住む者同士で楽しそうにプレーする光景が目に浮かびます。

又、野球同好会も、呼びかけ人の一人である菅原さん（十号棟在住）等のご尽力で、現在十五名の会員が集まり、去る一月二三日に、とある居酒屋で発足会が催されました。この発足会には、吉柳名誉監督（ゆり北自治会長）以下、多数の部員が集まり、今後の活動計画や野球談議に花を咲かせました。

当チームのチーム名は、「ゆりの木ノースレンジャーズ」と決まり、シーズン突入に向け、意欲が高まっています。

カメラマンもほろ酔い？頭が切れてすいません

ゆり北自治会では、「明るく豊かな街づくり」を推進しています。近隣に住む者同士が、仲良く、楽しく暮らしていければ、と考えています。

その一助となるよう、各種同好会に対して応援していきたいと考えます。

現在、ゆり北では、アマチュア無線クラブ、アウトドア同好会、上述したゴルフ同好会、野球同好会、の四つの同好会が知られています。又、昨年の夏まつりで活躍したバンドグループ（バイアグラ）も、活動を続けています。以下に、各同好会の代表と連絡先を記しました。一緒にやってみようと思われる方がいらっしゃいましたら、経験の有無を問いませんので、代表者までご連絡ください。

アマチュア無線クラブ
代表　林　治久　☎三九七七－二一九五
（コールサインJA1FCO）
資格取得に向けた講習会を開く用意もあります。

アウトドア同好会
代表　高橋広志　☎三九七七九－六四二五
キャンプ等を行っていますが、カラオケも大好きです。

ゴルフ同好会
代表　野口重則　☎三九七七－〇三一六
楽しくプレーしましょう。広く会員を募集しています。みんなでオーガスタを目指しましょう。

野球同好会
代表　上野浩樹　☎三九七七－八九四六
部員の大半は四十代です。無理をしないことをモットーにしています。国民体育大会（軟式野球の部）への出場は無理でしょう。年齢、性別を問わず、部員を募集しています。

バイアグラ
代表　小林辰弥　☎三九三〇－七六六九
音楽の好きな方、いらっしゃい。夏のステージで燃えましょう。

備えあれば憂いなし
区民防災大学終了九名

去る一月二十五日、区民センターにて区民防災大学終了式が行われました。

区民防災大学とは、地震や火災といった各種災害に対する基礎的な知識を身につけ、地域の防災活動に寄与するとともに、災害発生時には、人命の救助、復旧作業等を率先して行う人材を養成すべく、板橋区が実施しているものです。

この区民防災大学は、本科コース、救急コース、上級救命技能コースの3コースから成り立っています。本科コースは、基本的なコースで、区民であれば入学資格を問いません。救急コースは、上記本科を終了した者が受講できます。又、上級救命技能コースは、救急コースを終了後、相当の期間を経た者に対し、受講案内が送付されてきます。

平成十年度、ゆりの木北自治会からは、本科コースで八名、救急コースで一名の、合計九名が受講しました。各コース修了者を下記に記載しました。

阪神・淡路の震災から四年が経過し、私たちの防災意識も薄れかけているのが現状です。

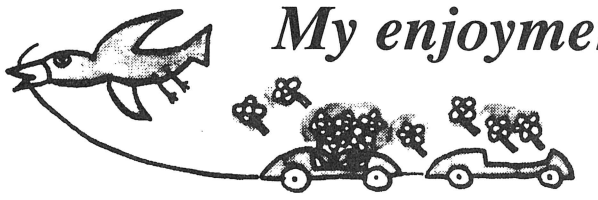
万一の災害に備え、より多くの方々に、区民防災大学で学び、防災リーダーとしてご活躍いただければ、と考えます。平成十一年度の区民防災大学の入学案内は、六月頃に自治会に送付されてきます。「会報ゆり北」等でご案内いたします。また、詳細を知りたい方は、自治会役員までお申しでください。

平成十年度防災大学修了者

本科コース　澁谷　一郎（七号棟）
藤野　雅美（十号棟）
河南美樹雄（十号棟）
佐藤　晶子（七号棟）
佐々木綾子（九号棟）
塩原　継雄（十一号棟）
吉田　裕子（四号棟）
上野　浩樹（一号棟）

救急コース　吉田　秀也（四号棟）

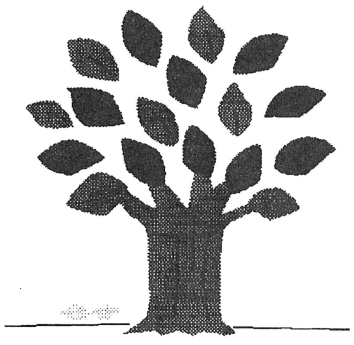
My enjoyments



清水知恵子

ゆりの木北団地の入居がきまってから、どんな場所なのか見に来ました。団地はきれいに並んでいて公園や緑が多く、とても居心地がよさそうな所でした。このような環境なら、生活をするにも、子ども達を育てていくうえにも最高の場所と思いました。そして入居してから十数年が過ぎ、子ども達も成長し、ここでの生活にも慣れました。私は現在、自転車で光が丘公園の中をぬけて通勤しています。四季折々の森林浴の中で草花を眺めていると、生活においての疲れを心身ともに癒してくれます。私はそんな草花が大好きなので、ベランダいっぱいに植木を育てています。挿し木、株分けなどして増やして楽しんでいます、その植木の中で十五年目にして、アロエの木に初めて蕾がつきました。私はどんな花が咲くのか楽しみにしていたところ、数日たつと、オレンジ色のきれいな花が咲いていました。アロエは暑さと乾燥に強い反面、寒さと湿気に弱い植物です。種類によっていくぶん差はありますが、生命力の強い植物ですから、霜や凍結から守ってやれば楽に育ちます。他の植木もそれぞれの個性があり一つ一つに気をつかわないと、すぐに枯れてしまいます。しかし手入をしてあげると、毎年きれいな花を咲かせてくれます。これからも草花を大切に育てて、緑からもらった知恵のひらめきを生かしながら、生活を楽しんで生きたいと思っています。

あなたも自治会の役員を体験してみませんか！



◎安全なまちづくりのために
◎きれいなまちづくりのために
◎楽しいまちづくりのために
◎住み続けられる団地のために
◎生き生きした自治会と地域の連携のために

ボランティア活動をしています。難しく考えず、和気あいあいと楽しみながら友達も増えていきます。あなたのご参加をお待ちしています。